

そ見(よる)去程に赤口より山形の先手より赤羽根境迄
江口五右衛門武久彦左衛門原八郎長河又市木戸
四郎右衛門里見勘兵衛江侯次郎後詰より氏家尾
張守坂上紀伊守志村九郎右衛門軍大將より大勢
此兵我よりと切て入る中にも横田大膳と名乗て義光
方にかゝれ無き者あり天童方に片桐市之無瀬り合散
く戦ひり大膳何れとあらず先市之無瀬り太刀を討は
し首お落さるるに山形方里見勘兵衛と名乗て
切てかゝる小玉助右衛門海よりと切結ふ小玉流石氏先
武者故終る勅を討に討れり石黒玄蕃是を見て目

は前に小玉をうとせりやあはれ思ふそを引くあといふ
侯太押しより川火花を散りて戦ひり石黒玄蕃を
此をひきよめて玄蕃よりあがり三途の瀬ふみせよとて去
向二ツは切割り里見世より首お打取女陣より引て入る其
次は細矢込内と名乗る太刀引提り欠出ると味方
より其後治郎助と名乗る生年十七歳にありたる細矢
にむざと渡り合ふをこれと切結ふ細矢は少少剛の者次
郎助は討れにたり湯村和泉守是を見ていささよし細
矢殿軍よりと打太刀は細矢は首水もたまふに切落し
切先よりとつらぬき山形は隈水より細矢を湯村より打取